

令和4年度千葉市健康づくり推進協議会

第1回食育推進部会議事録

- 1 日 時：令和4年8月31日（水）午後7時～午後8時
- 2 場 所：千葉市中央コミュニティセンター 8階 千鳥・海鷗
- 3 出席者：（委員）

安達浩二委員、安藤裕子委員、市橋由美子委員、伊藤雄介委員、植草奈保美委員、宇野直樹委員、大濱洋一委員、小川順子委員、加藤康幸委員、岸憲秀委員、篠原雅子委員、志村幸子委員、高澤みどり委員、渡邊智子委員

（委員17名中14名出席）

※欠席委員 小田島謙委員、斎藤昌雄委員、森川岩視委員

（事務局）

富田健康福祉部長、高澤消費生活センター長、岡田健康支援課長、大山生活衛生課担当課長、田中食品安全課長、石田健全育成課長、飯島こども家庭支援課長、皐月幼保支援課担当課長、宮野幼保運営課担当課長補佐、齋藤廃棄物対策課課長補佐、渡部農政課長、日高稲毛保健福祉センター健康課長、八斗教育指導課統括指導主事、渡邊保健体育課担当課長、内海生涯学習振興課長、田中健康推進課長、中臺健康推進課長補佐、高塚健康推進課長補佐

4 議 題

- （1）第3次千葉市食育推進計画の取組状況について
- （2）次期食育推進計画策定に係るアンケート調査の実施について
- （3）食育のつどいについて
- （4）その他

5 議事の概要

- （1）第3次千葉市食育推進計画の取組状況について
事務局と各関係機関・団体から令和3年度の活動報告を行った。
- （2）次期食育推進計画策定に係るアンケート調査の実施について
健康推進課から令和4年度に実施する食育に関するアンケート調査について説明した。

(3) 食育のつどいについて

健康推進課から令和4年度の食育のつどいの実施報告及び令和5年度の実施計画について説明した。

6 会議経過

午後7時 開会

(中臺健康推進課長補佐) ただいまから、「令和4年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会」を開催させていただきます。

私は本日の司会を務めさせていただきます、健康推進課課長補佐の中臺でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえまして、対面とオンラインのハイブリット方式で会議を開催させていただきます。通信トラブルや操作の不手際等がございましたら、ご容赦いただけますと幸いです。また会議内容は議事録作成の為、録音、録画させていただきますので、ご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。

本部会の開催につきましては、千葉市健康づくり推進協議会設置条例第7条第7項の規定により、委員及び臨時委員の半数以上の出席が必要でございます。委員総数17人のうち、オンライン参加の3人を含む12人のご出席をいただいておりますので、会議は成立しております。

なお、公益社団法人千葉市幼稚園協会会長岸委員は、所用により遅れてオンラインで出席されます。また、千葉市情報公開条例の規定により、千葉市の審議会等の会議は原則公開となっておりますので、本部会につきましても、公開での開催とさせていただきます。

議事録につきましても、部会長の承認による確定後、千葉市ホームページ等で公開しますので、あらかじめお知らせいたします。

それでは、会議に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。まずは、次第。次に、席次表。次に、千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会委員名簿。次に、事務局出席者名簿。次が、資料1-1、第3次千葉市食育推進計画取組一覧。資料1-2、関係機関における食育推進の取り組み一覧。資料2、次期食育推進計画策定に係るアンケート調査の実施について。資料3、食育のつどいについて。あと参考資料として、第3次千葉市食育推進計画(概要版)と千葉市健康づくり推進協議会設置条例、以上の資料をお配りしております。お手元の資料に過不足等はございませんでしょうか。

それでは、会議の開催にあたりまして、健康福祉部長の富田よりご挨拶を申し上げます。

(富田健康福祉部長) 皆様、こんばんは。健康福祉部長の富田でございます。

本日はお忙しい中、また夜分にも関わらず、ご出席くださいます、ありがとうございます。また、日ごろより本市の保健衛生行政の推進及び食育の推進に、ご理解と多大なご協力を賜っておりますこと、心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、現在、国におきましては、昨年度から令和7年度までの5年間を計画期間といたします第4次食育推進基本法を基に、地方自治体や学校、生産者、食品関連事業者など、様々な分野で積極的な食育活動を展開しております。

本市におきましても、第3次千葉市食育推進計画を推進しているところでございますが、今年度は、計画に掲げた目標の達成状況の把握や、次期計画の策定に向けたアンケート調査を実施することとしておりますので、詳細につきまして、この後ご報告させていただきたく存じます。

食育を推進するためには、本日ご出席くださっている皆様等、多くの関係者が密接に連携・協働して、小さな子どもさんから高齢期まで継続した活動を多角的に展開することが大切であると考えております。ここ数年は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けながらも、その時期その時期に最適な手法を工夫しながら活動してくださっていることと存じます。当部会におきましては、皆様の活動状況等を共有させていただき、活発な意見交換のもとに、本市の食育の一層の推進に繋げてまいりたいと考えておりますので、どうか忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いを申し上げます。それでは、本日も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(中臺健康推進課長補佐) 続きまして、今年度新たに委嘱されました委員3名の方をご紹介します。

はじめに、坂口いく子委員に代わりまして、千葉市食生活改善協議会会長市橋由美子委員でございます。

(市橋委員) 市橋と申します。よろしくお願いいたします。

(中臺健康推進課長補佐) 続きまして、時田一枝委員に代わりまして、一般社団法人千葉県歯科衛生士会会長高澤みどり委員でございます。オンラインにて出席でございます。

(高澤委員) はじめまして。千葉県歯科衛生士会の高澤と申します。今日は、オンラインで失礼いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(中臺健康推進課長補佐) 最後に、萩原利彦委員に代わりまして、千葉市PTA連絡協議会副会長小田島謙委員ですが、本日欠席とのご連絡をいただいております。

その他の委員につきましては、恐れ入りますが、お手もとの委員名簿にてご確認いただき、紹介は省略させていただきます。

事務局の職員につきましては、お手もとにお配りしております、名簿により紹介に代えさせていただきます。

それでは、ただいまから、会議に入らせていただきます。議事の進行につきましては、渡邊部会長、お願いいたします。

(渡邊部会長) こんにちは。今日は、遅い時間ですけれども、ぜひ千葉市の食育の為に、皆さんと意見交換し、千葉市の食育に貢献できるようにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ここから議事の進行をいたします渡邊でございます。大濱副部会長と進めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まず、本部会の議事録の署名人についてですが、部会長の署名によることとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

<異議なしの声>

(渡邊部会長) では、そのようにさせていただきたいと思っております。

それでは、議題1、第3次千葉市食育推進計画の取組状況について、事務局より具体的な取組内容を報告していただきます。

議題1 第3次千葉市食育推進計画の取組状況について

(田中健康推進課長) 健康推進課長の田中でございます。では、お手もとに資料1-1をご用意ください。食育推進計画の取組状況、令和3年度の取組と令和4年度実施した事業も含めまして、説明いたします。

令和3年度は、令和2年度に引き続き、コロナ禍でございましたが、各所管課では、創意工夫をいたしまして、その時期に最適な方法で、事業を進めております。そのあたりも含めまして説明させていただきたいと思っております。

では、基本施策に基づきまして、それぞれ説明させていただきます。

まず、1 家庭・地域における食育の推進（1）楽しく食べることの推進・望ましい食習慣と知識の習得についてです。こちらにつきましては、健康課で実施する事業等ですが、お一人おひとり市民の方にバランスの良い食事をとってもらうために食事バランスガイドの活用ですとか、共食や朝ごはんをとることの大切さ、野菜をとることの大切さなどを知っていただくために、健康課で講座、ホームページ、市政だよりなどを活用しました周知を行っております。

また、5番の若年者を対象とした食育の推進では、淑徳大学や保健医療大学等と連携を図りまして、小学生とその保護者を対象としました食育情報誌を引続き作成しております。こちらの作成については、庁内の食育関係課のご協力もいただいております。食育に関する幅広い情報を発信することとしております。また、高校生等を対象に食生活改善推進員による食育等も行っております。実施の状況は、その隣の欄、会場数等の欄に記載しております。令和4年度も引き続き実施をしております。続きまして、8番の「青少年の日」「家庭・地域の日」の推進です。こちらにつきましては、青少年の日である毎年9月の第3土曜日に、青少年の日フェスタを開催し、食育を推進していくというものでありますけれども、令和3年度につきましては、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大のために中止となりましたが、令和4年度については、現在、開催に向けて準備をしており、講座の一つとして、お弁当作り教室を開催する予定です。

続きまして、（2）妊産婦と乳幼児等への食育の推進です。こちらにつきましては、健康課で行う母親&父親学級や離乳食教室等での食育に関する情報提供等となっております。また、乳幼児健診等でも食育情報を個別に提供し、13番、令和3年度の実施状況ですけれども、健診中の待ち時間に個別相談を行うことで、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、その方に合った情報提供ができました。また、リーフレットやレシピ等も配付しておりますので、比較的、印象に残りやすい指導ができたと考えております。こちらにつきましては、令和4年度も引き続き、同様の形式で実施して参ります。では、1枚めくっていただきまして、15番です。こちらは、子育て支援館、子育てリラックス

館、地域子育て支援センター、保育所、認定こども園等で、食事や育児の相談に応じますということで、保健福祉センターを含む子どもに関連する施設で、寄せられた相談に対して、適切に対応しており、こちらについても、令和4年度も引き続き実施してまいります。

続きまして、(3)健康づくりのための食育の推進です。健康課で実施する管理栄養士等による相談につきましては、令和3年度は年間12,129件でした。母子の相談については、先ほど健診等で、きめ細かく実施しているというお話をさせていただきましたが、令和元年度に比べると、3,000件位多い相談に対応しております。続きまして、18番、調理実習を通じた望ましい食生活の啓発です。こちらにつきましては、調理をして食べるというのが、万全の感染対策をとりながら行うのが難しいことから、令和3年度については、調理や試食は実施せず、作り方の説明やコツを丁寧にお伝えするという手法で、食生活改善推進員等と連携しながら、地域のニーズに合わせた、食の実践教室等を実施しております。令和4年度につきましては、講座の中で調理を管理栄養士や食生活改善推進員がデモのような形で実施しておりまして、これも今後の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、その時の状況に合わせて、多くの皆さんに調理の楽しさを知っていただけるようなやり方での講座運営を検討していきたいと考えております。

続きまして(4)高齢期における食育の推進です。こちらにつきましては、介護予防のための教育を医師会や歯科医師会等のご協力をいただきまして実施しております。また、21番の低栄養予防のための教室の実施としましては、各区3回の1コースの他、令和3年度より1回限りの単発のコースを開設し、多くの高齢者が受講できる体制を整えました。そうすることによって、回数や参加者数の確保に努めました。続きまして、23番、高齢者の低栄養予防活動ということで、国民健康保険に加入される65歳から74歳の方で、特定健康診査の受診結果から低栄養が疑われる方に対しまして、基本チェックリストというものをお送りし、その方の心身の状況を確認しまして、必要な支援に繋げる事業で、高齢者の相談等を受け付けている「あんしんケアセンター」に、返送されたチェックリストの中で支援が必要と思われる方等をご案内しまして、そこから、介護予防事業に繋げるというようなことを実施しました。こちらに記載はないのですが、令和3年度から介護予防教育の案内を市民の方にお送りしております。これが、どういったものかといいますと、高齢になるとフレイ

ルという状態になる方がいます。フレイルというのは、低栄養ですとか、運動機能などで障害がみられるとかで、まだ介護まではいかないのだけれども、かなり虚弱な状態になってきている方々のことをいいます。そういった方々が介護に至らないように、例えば運動教室とか、食に関する講座のご案内をお送りし、参加していただくことでフレイルが進行するのを防ぎます。令和3年度は3,866人のフレイルが疑われる方に、介護予防教育の案内を送付しました。そして、実際に100人の方が、介護予防教育に参加していただきました。この事業は引き続き、令和4年度も実施していきます。

令和4年度から新たに実施する事業としましては、特にフレイルが進行している可能性がある方々に、直接、訪問して支援を行うというような事業で、他区に先駆け花見川区と若葉区で先行して実施しています。令和4年度については、200人ぐらいの市民の方に支援をする予定となっております。

続きまして(5) 歯科保健活動における食育の推進です。こちらにつきましては、健康課や学校教育の中で実施している事業となります。24番のヘルシーカムカムの開催です。こちらにつきましては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の状況等もありまして、実施を見合わせました。しかしながら、令和4年度につきましては、5月29日に実施しております。そごう千葉店で、383人の方に参加いただき、フッ化物歯面塗布、口腔がん検診等に参加いただきました。

(6) 地域における「食」を学ぶ機会の充実です。こちらにつきましては、公民館ですとか南部青少年センターで実施する講座などが出ております。30番の男性を対象とした食育の推進につきましては、多くの講座が新型コロナウイルス感染症の関係で中止となっておりますが、可能な範囲で実施しており、1講座、9人の方が参加されました。公民館の食育講座の実施状況につきましては、資料1-1の別紙に詳細を掲載しております。後ほどご確認いただければと思います。33番の小中学生の「食」を学ぶ機会の充実につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を充分にとっていただいた上で、ときめきサタディにおいて講座を開催しております。

続きまして、(7) 食育関連事業者等と連携した食育の推進です。こちらについては、35番の飲食店等における栄養情報の提供をご覧ください。栄養成分表示や健康情報の提供を行う飲食店につきましては、健康づくり応援店の登録をお願いしております。また、ホームページ等で市民の方への周知を行ってお

ります。その他、健康づくり応援店の登録については、食品衛生講習会等で制度の周知を行っております。

続きまして、2 保育所（園）、幼稚園、学校等における食育の推進です。

（1）保育活動や教育活動を通じた食育の推進ですけれども、こちらにつきましては、保育所、認定こども園、また私立幼稚園や学校等で進めていただいている食育の取組みが出ております。39番は、保育を通じた食育活動ということで、保育所、認定こども園で、各職種がそれぞれの専門性を活かし連携しまして、食育計画に基づきまして、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、楽しく食事をしたり、栽培や調理体験などを行ったりしていきまして、子ども一人ひとりの発育・発達に合わせた食育を行っております。41番、私立幼稚園における食育活動としましては、幼稚園協会の加盟園が、食育のつどいで食に関する体験活動等の報告を行っていただいております。また、幼稚園によっては、農業体験ですとか収穫体験等を実施し、食べ物に対する関心や感謝の気持ちを育む等、様々な手法で食育を推進していただいているところです。また、43番の栄養教諭等を中心とした食育の推進をご覧ください。食に関する指導の充実を図るために、栄養教諭等の専門性を生かした指導場面の設定ですとか、教科の特性に応じまして、栄養教諭等の関わり方を研究するために、栄養教諭によるモデル授業を実施し、研修を深めております。こちらにつきましては、令和4年度も、栄養教諭による食育授業の授業研究会を市内3校で実施する予定となっております。続きまして、（2）の指導体制の充実をご覧ください。こちらについては、食に係る職員の研修等について記載させていただいております。新型コロナウイルス感染症対策等を講じながら、研修を実施している状況があります。続きまして、1枚おめくり下さい。（3）給食を通じた食育の充実です。こちらについては、48番をご覧ください。学校給食を生きた教材として活用した食育を推進するということで、令和3年度につきましては、千葉開府900年にちなみまして「千葉氏ゆかりの地メニュー」ですとか、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別メニュー」ですとか、市内農産物を取り入れた特別メニュー等、特色ある献立を市内全校で実施しております。令和4年度につきましても「千葉氏ゆかりの地メニュー」ですとか、市内農産物を取り入れた特別メニューなど、特色がある献立を市内の全校で展開しております。続きまして、（4）農業体験や食品の調理等の体験活動の推進です。こちらについては、53番の農業体験の欄をご覧ください。各学校の年間計画に

基づきまして、農業体験や食に関する指導を行っております。また、54番、小学生の農山村留学の推進では、収穫体験ですとか、郷土料理作りを実施した小学校が10校ありました。続きまして、(5) 保護者への普及啓発・地域との連携です。こちらにつきましては、57番をご覧ください。食育だよりなどを通じた情報提供ということで、各保育所、認定こども園、学校等、食事の大切さ、共食、生活リズム等、様々な情報提供を行っております。また、学校では、栄養バランスのよい食事、食品の栄養素などについても情報提供しております。続きまして58番、家庭配布献立表を活用した情報提供です。保育所、こども園では、家庭配布献立表に毎年テーマを変えたレシピの紹介を掲載しております。学校につきましては、献立表に旬の食材を使ったレシピや郷土料理の紹介など、献立や料理に関する情報の提供を行うこともしております。

続きまして、3 地産地消の推進、環境にやさしい食育の推進です。こちらにつきましては、61番をご覧ください。生産者による出張授業ということで、新型コロナウイルス感染症対策の為、オンラインなども活用しまして、令和3年度は6校で実施しております。令和4年度は、7回実施する予定です。続きまして、次のページをご覧ください。(2) 地産地消の推進です。こちらにつきましては、63番をご覧ください。給食への市内産農畜産物の導入ということで、供給量の方ですけれども、平成29年度は267トンでしたが、令和3年度は323トンということで、やや増加傾向にございます。また、中学校に給食を提供している給食センターへの品目ごとの供給率は、コマツナが89%、ニンジンについては50%、年間使用量を市内産で賄うことができました。続きまして、

(3) 生産者と消費者との交流と体験活動の促進です。農業体験の参加・利用の促進ということで、観光農園につきましては、新型コロナウイルス感染症対策で予約制等にしております。また、市民農園につきましては、令和3年度は82%ということで、前年度を上回る利用状況でした。(4) 市内産農畜産物を活かした料理の普及です。こちらにつきましては、65番の郷土料理の普及啓発としましては、例年、食生活改善推進員の地区伝達活動におきまして、大人や子どもを対象に郷土料理であります太巻き寿司の講習会を実施しておりましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大で中止をしております。しかしながら、令和4年度につきましては「プロから学ぶ食育教室」というものの中で、千葉の郷土料理である太巻き寿司の講習会を実施しております。66番の伝統野菜の継承は、土気からし菜が、イタリアのスローフード協会「味の箱舟」

へ登録が出来まして、証の授与がありました。続きまして、(5) 環境にやさしい食育の推進です。こちらにつきましては、68番、3R教育・学習の推進です。未就学児を対象とした「へらそうくんルーム」ですとか、小学4年生を対象とした「ごみ分別スクール」を実施しております。へらそうくんルームにつきましては、参加者が388人、ごみ分別スクールは7,686人の参加がありました。令和4年度も引き続き、実施してまいります。続きまして、71番、学校における食品ロス削減の啓発ですけれども、こちらにつきましては、市内小中学校等へポスターの掲示ですとか、校内放送での周知、給食だよりへの記事掲載等で食品ロス削減へ意識の植え付けを行っております。

1枚めくっていただきまして、4 食の安全・安心に関する情報の提供です。(1) 食品の安全性に関する情報の提供をご覧ください。こちらにつきましては、73番、食に関する講座・啓発の実施です。消費生活センターの方で実施しております。市立小学校教員の協力のもと、小学生とその保護者に向けた食品ロスに関する講座を実施しました。また、適応指導教室の方で、食品ロスに関する講座を2回実施しております。参加者数等は、隣に記載の通りです。令和4年度も引き続き、実施していきます。75番のリスクコミュニケーションの推進です。食の安全に関する講演会・意見交換会ですけれども、こちらにつきましては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から実施を見合わせております。続きまして、76番、ホームページ等による情報提供です。こちらにつきましては、食品衛生法違反者の公表を令和3年度は、6回実施しております。また、市内食品等事業者からの届け出による食品の自主回収情報につきましては、昨年度は12回実施しました。

続きまして、1枚めくっていただいて、5 食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立です。(1) 食育推進運動の展開です。こちらにつきましては、82番、食育のつどいの開催をご覧ください。食育のつどいにつきましては、委員さんの所属団体の方々に、ご参加いただき実施しております。令和3年度につきましては、千葉駅ですとか、生涯学習センター、またイオン稲毛店等4会場で、6月に巡回パネル展を実施しました。参加者数は、2,250人でした。令和4年度については、後ほど、また詳細をご説明いたしますが、開催しております。続きまして、83番の市民健康づくり大会の開催ですけれども、こちらにつきましては、令和3年度につきましては新型コロナウイルス感染症対策のために開催を中止しました。また、こちらの大会につきましては、かなりの参加者が例年おりました。

て、令和4年度についても中止することとなりました。続きまして、(2) 関係機関・団体等との連携・協力体制の確立です。86、健康づくりのネットワークを活用した食育の推進です。こちらにつきましては、医師会の他、様々な地域の方々に参加いただきます健康づくり支援連絡会を介しまして、健康づくりに関する情報の共有等を区ごとに実施しているところですが、この中で、健康づくり支援マップを食育に関する情報も盛り込みながら各区6,000部作成しました。令和4年度も引き続き、実施していく予定となっております。(3) 食育推進に係る人材の育成・支援につきましては、食生活改善推進員の育成を行っております。食生活改善推進員は、食を通して地域の健康づくりを行うボランティア活動をしていただいている方々になりますけれども、こちらの方の養成講座を実施しまして、昨年は40名の方が修了しております。令和4年度も、同様に実施していく予定です。市の施策の説明につきましては、以上となります。

(渡邊部会長) ありがとうございます。いろいろ丁寧に教えていただきまして、よく理解できたと思います。続きまして、資料1-2 関係機関における食育の取り組み一覧をご覧ください。委員の皆様の所属団体での、令和3年度の食育活動の取り組みについてご報告いただきました。本日は、生活協同組合コープみらい千葉県本部、千葉市食生活改善協議会、公益社団法人千葉県栄養士会千葉地域事業部の3団体からご報告をお願いしたいと思います。はじめに、生活協同組合コープみらい千葉県本部 安達委員お願いいたします。

(安達委員) はい、コープみらいの安達と申します。よろしくお願いいたします。令和3年度の実績になるのですが、コープみらいでは出前授業を実施しています。新型コロナウイルス感染症のことがあり、昨年度は、オンラインでの出前授業を実施した実績になっております。千葉市では、高洲小学校で7月と9月に2回実施をさせていただいております。今年度につきましても、実開催、オンライン両方で進めてはいるのですが、オンラインより実開催の方が多くなっている状況です。オンラインでは、先日、千葉市の教育研究会の方に「もったいないを考えよう」を実施させていただいております。その他、先ほど報告がありました、食育のつどいにも、パネル展、実開催で参加させていただきました。また、コープみらいでは、「コープみらいフェスタきやっせ物産展」を、幕張メッセで実施しているのですが、3年間新型コロナウイルス感染

症の事で中止になっているのですが、今年度は、感染対策を講じながら、出展団体を少なくし、今のところ、来年の2月19日に実施の方向で進めています。コープみらいからは、以上になります。

(渡邊部会長) ありがとうございます。工夫して取り組んでいらっしゃる事が分かりました。では、続いて千葉市食生活改善協議会 市橋委員をお願いします。

(市橋委員) 市橋と申します。よろしくお願いいたします。千葉市食生活改善協議会は、300人弱の推進員、ヘルスメイト、食改とも呼ばれていますが、6支部に分かれて活動しています。本日は代表的な3事業について報告させていただきます。食育のつどい、先ほどの説明でもありましたように、昨年度はパネル展でした。今年度は、アリオ蘇我でパネル展、2日に渡りイベントを行いました。食育のつどいの重点目標は「栄養バランスに配慮した食生活を実践する人を増やす」「産地や生産者を意識して農林水産物、食品を選ぶ人を増やす」です。重点目標に沿い、バランスプレート、レシピを配布しました。バランスプレート、こちらになります。当初は、お子さん向きに配る予定でしたが、校長会のブースにいらした栄養教諭の方が、非常に興味を持ってくださいまして、先生方にもお配りしましたので、学校教育のほうでも活用していただければ嬉しく思います。それからレシピに関しては、地産地消ということで「にんじんそぼろ」のレシピ、これは学校給食でも採用されているというふうに聞いています。その他に減塩レシピを配りました。千葉市は、まだまだ2020年版の日本人の食事摂取基準の食塩摂取の目標量、男性7.5g未満、女性6.5g未満には程遠いですね。それから市民健康づくり大会、昨年度、今年度は中止となりましたが、例年、レシピの配布、災害時の食の展示などを行っています。その中でローリングストックの紹介をしています。聖心高校への伝達は、健康日本21(第2次)の目標を踏まえた生活習慣病予防のための若者世代へのスキルアップ事業です。昨年度は、デモンストレーション(パンを作りました)を交え、テキストに沿い(テキスト、このようなテキストがあります)、朝食の大切さ、野菜の摂取量、塩分、BMI、外食について、食事のバランスの大切さを説明しました。生徒に質問したり、キャッチフレーズ、例えば「減らそう塩 増やそう野菜 今食べているものが未来の体をつくる」等を

使用し、わかり易い伝達を心掛けています。今年度も秋以降、実施予定です。本日は、3事業についてのみ報告させていただきましたが、乳幼児期から高齢期まで、ライフステージ別にその世代にあった、例えば、壮年期はメタボ予防、高齢期にはフレイル予防等、伝達をしています。「私達の健康は私達の手で」これは、私たちの所属する日本食生活協会のスローガンです。「のぼそう健康寿命、つながり郷土の食」これが、サブスローガンです。お隣さん、お向いさんが活動の原点です。これからも、千葉市民の皆様に、食と健康について伝達していきたいと思います。最後に余談ですけれども、今日、8月31日、野菜の日ですね。野菜の日に、こうして皆様と食育に関する会合に参加させていただきまして幸いです。ありがとうございました。それから、もう一つ紹介させてください。このピンクTシャツを着て、食育のつどいの時や伝達活動で活動しております。どうぞよろしくお願いいたします。

(渡邊部会長) ありがとうございます。丁寧に会のお考え等も聞かせていただきまして、先ほど食生活改善推進員については、千葉市で養成しているというお話しでした。そういった方々が、市民のために活躍しているというのは、素晴らしいことだなと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。それでは続いて、千葉県栄養士会千葉地域事業部 篠原委員、お願いいたします。

(篠原委員) 千葉県栄養士会千葉地域事業部の篠原です。よろしくお願いいたします。まず、食育のつどいについてですが、パネル展において、目標達成に向けた展示パネルを選定し出展しました。食育に関する資料や地産地消レシピ等の配布を行いました。今年度については、食育月間の事業としての食育パネル展において「やさいをたべよう」のパネルを展示しまして、地産地消レシピの配布を行いました。7月9日のメインイベントにおいて、1日だったのですが、栄養士会のブースを設置しまして、地産地消レシピや食育リーフレットを配布しました。その他、野菜クイズや媒体を活用して、健康づくりや食生活の相談を行ったということになります。2番目の食育・健康料理教室についてですが、栄養士会独自の料理教室が出来なかったですけれども、プロから学ぶ食育教室を実施しまして、5会場において、延べ68人参加者がありました。この時、郷土料理の理解と家庭での食育推進を図ったということです。食育ま

たは生活習慣病予防を中心とした献立と講話を組み合わせた料理教室を毎年やっております、テーマを決めて実施していましたが、新型コロナウイルス感染症発生動向を踏まえまして、教室の内容や運営方法などを協議し、事業の円滑な実施と内容の充実に努めることを目標としていましたが、今年度については新型コロナウイルス感染症の見通しがつかないということで、まだ予定は立っておりません。この他に、毎年、料理教室で料理をしたメニューをインターネットのホームページに掲載しているのですが、今年度については、野菜摂取量の増加を目的に、会員が従事する給食施設等で好評な野菜メニューを収集しまして、レシピ集を作成することにしました。以上です。

(渡邊部会長) ありがとうございます。千葉県栄養士会の活動についても、皆さんが理解できたのではないかなと思います。今の報告について、なにかご質問とか、自分のところも少し皆さんにお知らせしたいとか、そういった方がいらっしゃれば、お願いいたします。

よろしいでしょうか。では、次に移りたいと思います。議題2 次期食育計画策定に係るアンケート調査の実施について、事務局より報告をお願いいたします。

議題2 次期食育推進計画策定に係るアンケート調査の実施について

(田中健康推進課長) 第3次千葉市食育推進計画につきましては、令和元年度から令和5年度までの5年間の計画になっておりますが、終期にあたりまして、計画上掲げておりました各目標の達成状況を把握するため、また、次の計画につきまして現状把握を行うために、アンケート調査を実施したいと考えております。対象につきましては、計画策定時と同じような手法で実施していく予定です。対象は、15歳以上の市民の方、2,700名を無作為抽出で選びまして行います。また、市内の幼稚園10園に通う園児の保護者の方々に、お子さんの状況を把握するための調査も行います。こちらについては、1,500名を対象に行います。実施時期は、今年の11月頃です。内容については、食育に関する設問となっております。方法ですけれども、15歳以上の市民の方を対象とする調査につきましては、郵送で調査票を送付しまして、回答を記載いただきました。

ら郵送で返信いただきます。市内の幼稚園につきましては、幼稚園協会さんの方でご協力いただける10園を選んでいただき、その10園にご協力をいただきまして保護者に配布をし、回答後は幼稚園さんの方で回収していただき、こちらのほうにいただくという方法で実施したいと考えております。説明は、以上になります。

(渡邊部会長) ありがとうございます。ただいまの報告に対して、ご質問等はございませんでしょうか。

では、このまま進めさせていただきたいと思います。それでは、次に、議題3 食育のつどいについて、でございます。事務局より報告をお願いいたします。

議題3 食育のつどいについて

(田中健康推進課長) こちらにつきましては、6月の食育月間に関連して実施しておりまして、部会の委員さま方の所属団体にご協力をいただきまして、食に関する多様な情報を扱うイベントとして開催させていただいております。こちらについては、平成24年度から大型商業施設での実施を始めておりまして、19回にわたって実施しております。まず、令和4年度の実施報告をさせていただきます。アリオ蘇我を会場に実施しました。食に関わる関係団体、9団体さんの他、地産地消、食品ロスというようなことを、市の関係課も加わり実施しました。実施の詳細ですが、パネル展示を6月20日から7月10日まで20日間実施しました。こちらは、アリオ蘇我の1階の通路にパネルを設置させていただきました。また、メインイベントとして、7月9日と10日に2,181名の方にご参加いただきましたイベントの方では、啓発媒体の配布の他、クイズやレクリエーション等、様々な手法で市民の方に食育に親しんでいただくことができました。また次に、令和5年度ですけれども、こちらについても引き続き、皆様のご協力をいただきまして、開催したいと考えております。時期としましては、6月の下旬ごろを予定しております。場所につきましては、美浜区のイオンマリニピアの方を予定しております。新型コロナウイルス感染症の状況がどのようになるか、まだわかりませんが、今年度に引き続き、パネル展示、啓発媒体配布の他、来場者の方が食について考えるきっかけとなるような

体験プログラムを充実させまして、すべての来場者が食育に親しめるようなつどいにしたいと考えておりますので、来年度もどうぞご協力をいただければと思います。私どもの方からの説明は以上です。

（渡邊部会長） ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局の説明に対して、なにか質問、ご意見等あればお願いいたします。

（安藤委員） 恐れ入ります。来年の計画なのですが、マリンピア店、特に別に問題はないのですが、場所がほとんど無いので、どちらで予定されるのかと思ひまして、質問させていただきます。

（田中健康推進課長） マリンピアの中のステージがあります、5階のジージーモールという場所で行います。

（安藤委員） あちらはあまり広くないですけど、場所は問題ないでしょうか。

（田中健康推進課長） 広さは、今年よりも少し狭くなってしましますが、会期を広く取りまして、参加団体さんのほうに、いろいろなやり方でご協力いただきたいと考えており、実施の方法を今私どもの方で検討しているところです。勿論このご時世ですので、感染症対策をきちんとやらなくてはならないですから、その辺りも踏まえて、今年以上に参加していただけるイベントにしたいと思っておりますので、ぜひご協力いただければと思います。

（安藤委員） かしこまりました。別にマリンピアが問題ということではなくて、もう少し広いお店も区内にございますので、そちらの方でいかがかなと思ひまして、すいません、質問させていただいた次第でございます。

（田中健康推進課長） こちらのイベントは6区持ち回りで開催しておりますが、以前に市の周辺部に近い、広いイベントスペースのある店舗で開催した際、参加していただける方が、市外の方が大変多い状況でした。それで、今回は市内の方が集まりやすい場所を念頭に検討しまして、美浜区の中であれば、

ここが一番いいかと考えました。再度、もう少し良い場所がないかは、多方面から検討したいと思います。ありがとうございます。

 (安藤委員) 恐れ入ります。幕張新都心ですと、確かにいろいろな所からお客様がお集まりになるので厳しいというところですね。わかりました。もし、ご予定とか早めに日時とか日程がお決まりでしたら、お知らせいただきましたら、なるべく取らせていただくように調整いたしますので、よろしくお願いいたします。

(渡邊部会長) ありがとうございます。ぜひ、よろしくお願いいたします。それでは、他にご質問のある方はいらっしゃらないでしょうか。いかがですか。

それでは、他にないようですので、以上を持ちまして、本日の審議を終了させていただきます。皆様のご協力により円滑に審議を進めることができました。誠にありがとうございました。以上で、令和4年度千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会を閉会いたします。この後は、事務局の方にお返しいたします。よろしくお願いいたします。

(中臺健康推進課長補佐) はい、渡邊部会長、ありがとうございます。次回の部会は、来年度の開催となります。近くなりましたら、また委員の皆様にご案内をいたします。その際は、よろしくお願いいたします。それでは、本日の会議は、これを持ちまして終了となります。委員の皆様、誠にありがとうございました。

午後8時 閉会

令和4年度千葉市健康づくり推進協議会 第1回食育推進部会議事録を承認します。

署名人

渡邊 智子



自署または記名押印